

平成24年 5月17日

香川県内企業の事業継続計画（BCP）取り組み状況調査結果の公表について

香川大学危機管理研究センターでは、平成20年4月の創設以来香川県における防災対策や事業継続に関する調査・研究を継続して実施しています。

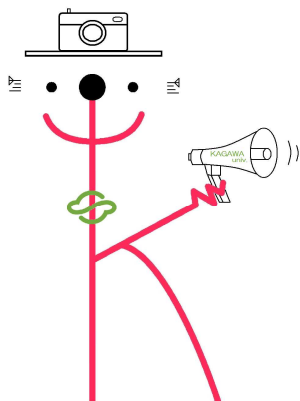
このたび、東日本大震災をふまえて、香川県経済同友会のご協力をいただき、会員企業を対象に、防災対策の実施状況や事業継続計画（BCP）への取り組み状況をお聞きすることにより、今後の防災対策へ幅広く反映させて頂くことを目的としたアンケート調査を実施させていただきました。

本調査は、2008年9月に実施したアンケート調査の継続調査であり、今回調査結果をふまえて、来るべき南海トラフ巨大地震災害に備えるために、香川大学が地域にどのようなご支援ができるかを検討させていただいたものです。その調査結果を取り纏めさせて頂きましたので、ご報告させていただきます。調査にご協力いただきました香川経済同友会会員企業の皆様に厚く御礼申し上げます。

- ・対象者：香川県経済同友会会員企業様 400件発送
- ・期間：2012年2月6日～2月22日
- ・回収率：133件（33.2%）
- ・設問内容：Ⅰ 防災対策の実施状況
Ⅱ 事業継続計画の取り組み状況
Ⅲ 東日本大震災による影響
全37問
- ・調査結果の概要 別紙参照

【事業継続計画（BCP）とは？】

事業継続計画（Business Continuity Plan：BCP）とは、災害や事故等の様々なリスクが発生した場合、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための手段などを取り決めておく計画のことです。



➤ 問い合わせ先

香川大学危機管理研究センター 磯打（いそうち）
〒761-0396 香川県高松市林町2-2-17-20
TEL 087-864-2546

（上記不在の場合）

香川大学危機管理研究センター
TEL 087-864-2544

アンケート結果の概要

問 23 事業継続計画(BCP)を策定していますか？

策定済み・策定中は、53社（40%）であり、2008年時点の36社（24%）を大きく上回った。策定予定を含めると73%の企業に今後整備されると期待。

策定済み・策定中企業の業種は、建設業30%、金融・保険業23%、製造業19%。資本金は、10億円以上が32社（60%）。企業規模により策定率が大きく異なる。

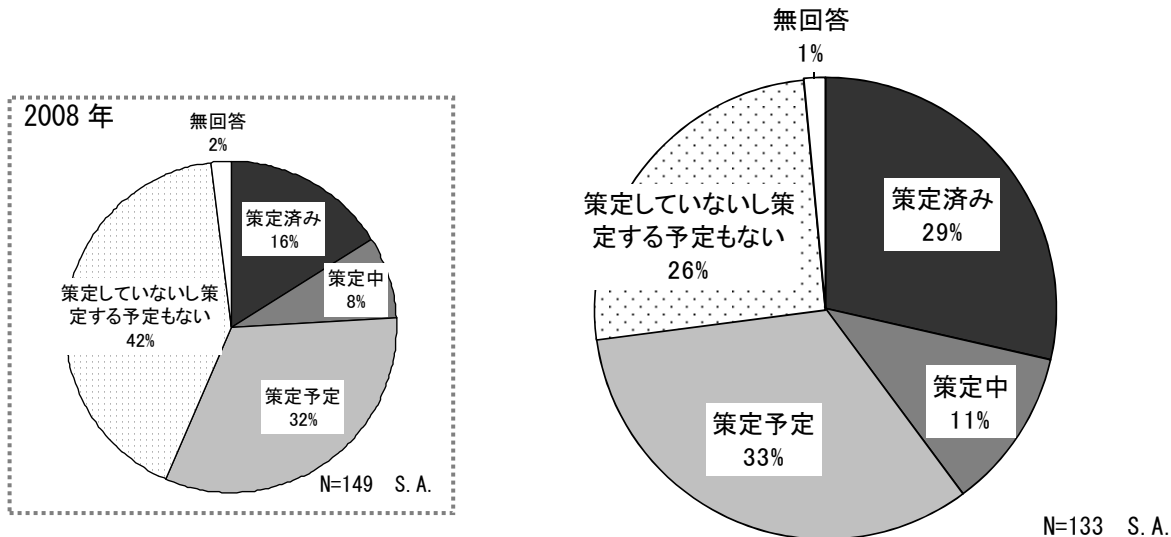


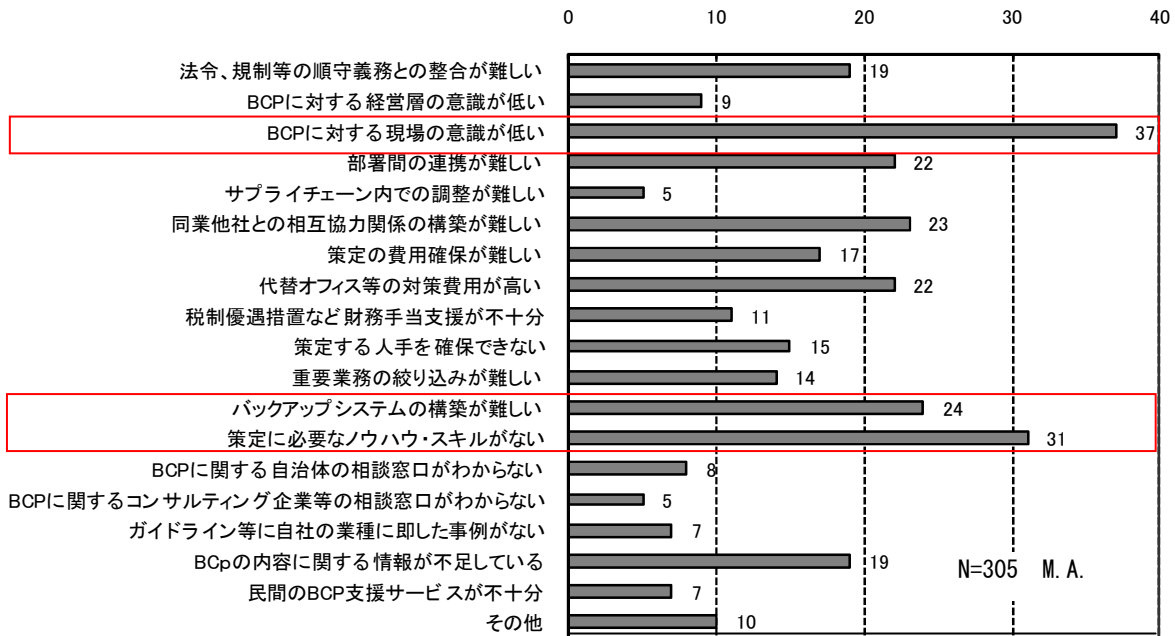
図1 BCP策定状況

2008年9月時点			2012年2月時点		
選択肢	社	割合	選択肢	社	割合
策定済み	24	16%	策定済み	38	29%
策定中	12	8%	策定中	15	11%
策定予定	48	32%	策定予定	44	33%
策定していないし策定する予定もない	62	42%	策定していないし策定する予定もない	34	26%
無回答	3	2%	無回答	2	2%
合計	149	100%	合計	133	100%

参考：磯打千雅子，白木渡：香川県内企業の防災対策・事業継続計画の現状と課題について，第23回信頼性シンポジウム講演論文集，pp.122-127，2008年12月。

問 28 事業継続計画策定上の課題

策定上の課題は、BCP に対する現場意識が低い、策定に必要なノウハウ・スキルがない、バックアップシステムの構築が難しいなど。



問 29 事業継続計画の策定を開始した理由

策定を開始した理由は、企業の社会的責任・情報提供の観点から、過去の災害・事故等の経験からで 2008 年と同様である。

一方で、東日本大震災で被害を受けた、または被害は受けていないが必要性を認識した企業が多い。

